

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	国際統計分類 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	前期 水曜1限	教室名	4校舎503
担 当 教 員	山本 節子	実務経験と その関連資格	医療機関にて、情報管理業務にかかわり22年目になります。カルテ管理から情報処理まで実務経験豊富です。診療情報管理士指導者・医療情報技師・統計士			
《授業科目における学習内容》						
疾病・手術分類は診療情報管理士として、専門性が求められる業務です。定められたルールに基づいて、分類できるよう、疾病分類の概念を学習します。						
《成績評価の方法と基準》						
前期試験評価70% 出席評価20% 平常評価10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
診療情報管理士テキスト						
《授業外における学習方法》						
講義終了部分のテキストの文章を一度は、読み返してください。						
《履修に当たっての留意点》						
授業で配布した資料は紛失しないように留意してください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際疾病分類の概念が理解できる。	診療情報管理士 テキスト	適宜出題	
		各コマにおける授業予定	わが国の人口動態統計 疾病分類とその意義 使用目的			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際疾病分類の歴史が理解できる。	診療情報管理士 テキスト	適宜出題	
		各コマにおける授業予定	国際疾病分類誕生までの経緯、現状 構造			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際統計分類ファミリー論が理解できる。	診療情報管理士 テキスト	適宜出題	
		各コマにおける授業予定	国際統計分類ファミリーの概念と構想			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際疾病分類－腫瘍学ICD-Oが理解できる。	診療情報管理士 テキスト	適宜出題	
		各コマにおける授業予定	ICD-Oの構造、T分類、M分類			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療行為に関する分類が理解できる。	診療情報管理士 テキスト	適宜出題	
		各コマにおける授業予定	ICHIと医療行為に関する分類			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類ICFについて理解できる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	ICFのしくみについて		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類ICFについて理解できる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	ICFのしくみについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	原死因の選択ルールについて理解できる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	死因の定義、死亡診断書、原死因の選択ルール		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	原死因の選択ルールについて理解できる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	各原則、ルールの内容		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	原死因の選択ルールについて理解できる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	原死因のルールによる症例演習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	原死因の選択ルールについて理解できる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	原死因のルールによる症例演習		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	主要病態のコーディングを理解できる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	主要病態のコーディングガイドライン		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	主要病態のコーディングを理解できる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	主要病態のコーディングガイドライン		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ICDを用いるうえでの注意点を理解できる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	コーディングに関するまとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期試験の範囲を解くことができる。	診療情報管理士テキスト	適宜出題
		各コマにおける授業予定	この章のまとめ、試験		